



System x UpdateXpress System Pack Installer ガイド

2015 年 7 月 5 版

発行： レノボ・エンタープライズ・ソリューションズ株式会社

担当： システムズエンジニア本部 製品 SE 部

Microsoft、WindowsおよびWindowsロゴは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。

Intel、Xeonは、Intel Corporationの米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名、およびサービス名等はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

お願い

本書に記載されている情報とそれに対応する製品をご使用になる前に、「本書をご利用になる前に」の事項を必ずご確認ください。

本書をご利用になる前に

当内容は、お客様、販売店様、その他関係者が、System x, Flex Systemなどを活用することを目的として作成しました。

詳細につきましては、URL (<http://www.lenovo.com/legal/jp/ja/>)の利用条件をご参照ください。

当技術資料に含まれるレノボ・エンタープライズ・ソリューションズ株式会社およびLenovo Enterprise Solutions (以下総称して、LES) 以外の製品に関する情報は、各提供ベンダーより提供されたものであり、LESはその正確性または完全性についてはいかなる責任も負いません。

当技術資料の個々の項目は、LESにて検証されていますが、お客様の環境において全く同一または同様な結果が得られる保証はありません。お客様の環境、その他の要因によって異なる場合があります。お客様自身の環境にこれらの技術を適用される場合は、お客様自身の責任と費用において行なってくださいますようお願いいたします。

Copyright 2015 レノボ・エンタープライズ・ソリューションズ株式会社

目次

お願い.....	3
本書をご利用になる前に.....	4
目次	5
要約	7
1. 事前に準備するもの	8
1.1. ソフトウェア	8
1.1.1. ユーティリティー	8
1.2. ハードウェア	9
1.2.1. 環境 1 クライアント PC	9
1.2.2. 環境 2 System x、BladeCenter の Server.....	9
1.3. 当ガイドで利用したシステム環境一覧.....	10
2. 注意事項.....	11
3. クライアント PC で UpdateXpress System Pack Installer を実行	12
3.1. UpdateXpress System Pack Installer の実行	12
4. System x や BladeCenter 等の Server で UpdateXpress System Pack Installer を実行	23
4.1. UpdateXpress System Pack Installer の実行	24
5. <補足>IMM2 の Out-of-Band にクライアント PC を接続し、クライアント PC にて UpdateXpress System Pack Installer を CLI で実行する方法.....	33

5.1. クライアント PC にて UpdateXpress System Pack Installer を CLI にて実行し、IMM2 のファームウェアのみをアップデートしたい場合	34
5.2. クライアント PC にて UpdateXpress System Pack Installer を CLI にて実行し、IMM2、 UEFI、および DSA のファームウェアを同時にアップデートする場合	38

要約

当ガイドでは System x、BladeCenter、および Flex System のサーバーの BIOS、UEFI、NIC、HBA 等の各オプションのファームウェアやドライバーのバージョンを、OS 上で UpdateXpress System Pack Installer を使用してアップグレードをするための主要なプロセスについて取り上げました。 又後半では<補足>として、サーバーの IMM2 に Out-of-Band にて接続してアップグレードをするための主要なプロセスについても取り上げました。

活用局面：	☐ 提案時	☒ 構築時	☒ 運用時
情報	：	☐ Marketing	☒ Technical
シリーズ	：	☒ 単発	☐ 定期発行
対象機種	：	☐ 全機種	☒ 特定機種(UpdateXpress System Pack Installer でサポートされているサーバー)

1. 事前に準備するもの

1.1. ソフトウェア

以下のものをサイトからダウンロードします。

当ガイド作成日現在のダウンロード先もそれぞれについて併記していますが、万が一リンク先が変更されていた場合、以下より該当のファイルを検索してください。

「Fix Central」

→ <http://www.ibm.com/support/fixcentral/>

1.1.1. ユーティリティー

①UpdateXpress System Pack Installer

<https://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?lnnodocid=SERV-XPRESS>

UpdateXpress for Lenovo x86 servers

<https://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?lnnodocid=lnvo-xpress>

※原則として最新版をご利用ください

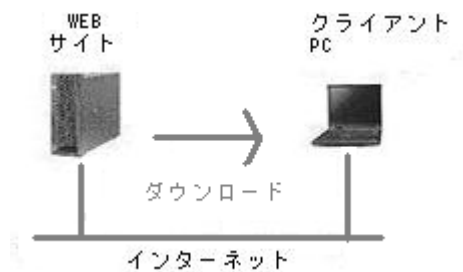
※当ガイドでは以下のバージョンを想定しています。

UpdateXpress System Pack Installer for Microsoft Windows
Version 4.40

1.2. ハードウェア

1.2.1. 環境 1 クライアント PC

WEBサイトに接続可能なクライアントPCでUpdateXpress System Pack Installerを実行しSystem xやBladeCenterのServerのファームウェアやドライバーのアップグレードファイルをダウンロードします。



1.2.2. 環境 2 System x、BladeCenter の Server

クライアントPCからファームウェアやドライバー等のアップグレードを行いたい適用先のサーバー（System x、BladeCenterのServer）へファイルをコピーしてUpdateXpress System Pack Installerを実行します。



1.3. 当ガイドで利用したシステム環境一覧

当ガイドを作成するにあたり、想定している機器構成 は以下の通りです。

➤ **BladeCenter Host**

Blade Serve	HS22(7870)
OS	Windows Server 2008 R2

管理用クライアントPC

OS:	Windows XP SP3
-----	----------------

2. 注意事項

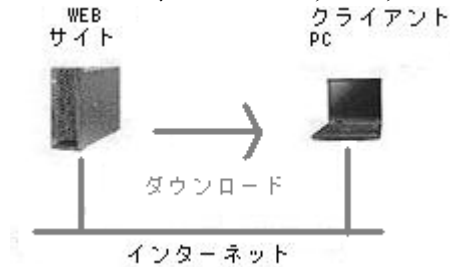
UpdateXpress System Pack Installer についての詳細な情報は下記を御確認ください。

UpdateXpress System Pack Installer (UXSPI) User's Guide - BladeCenter and System x
<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5085892>

ソフトウェア・バージョンごとに制限事項や、既知の問題が掲載されていますので、ご利用になるバージョンに付属のドキュメントの Troubleshooting の章をご確認いただくことをお勧めします。

3. クライアント PC で UpdateXpress System Pack Installer を実行

WEBサイトに接続可能なクライアントPCでUpdateXpress System Pack Installerを実行しSystem xやBladeCenter等のServerのファームウェアやドライバーのアップグレードファイルをダウンロードします。

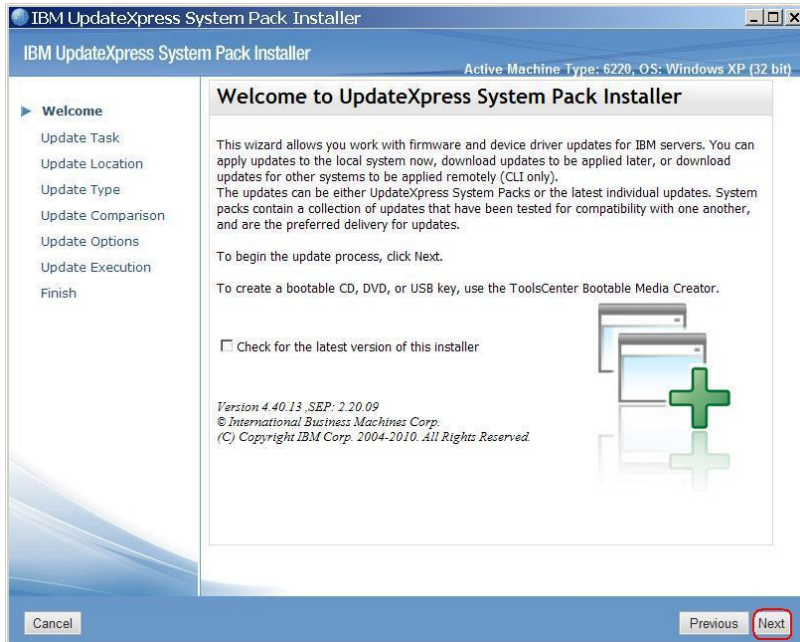


3.1. UpdateXpress System Pack Installer の実行

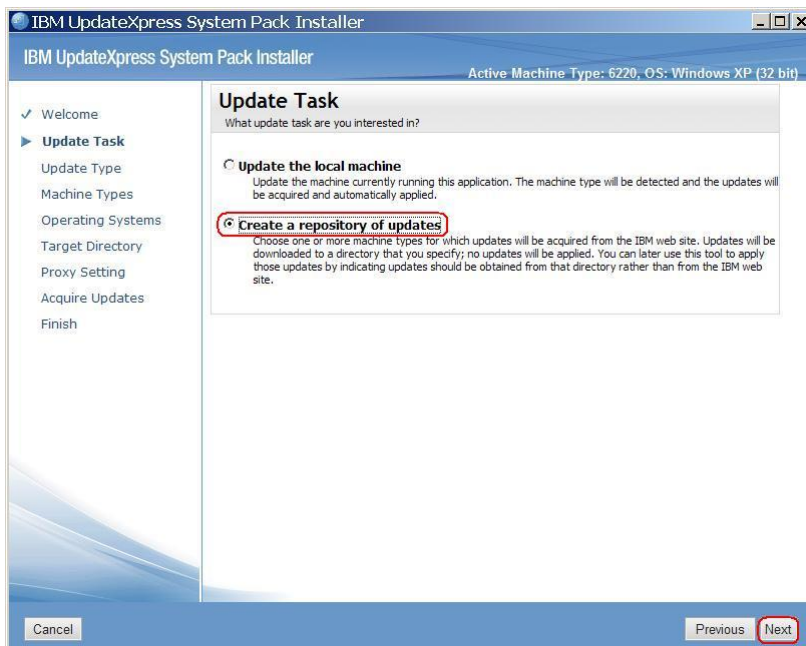
1. 「1.事前に準備するもの」でWEBサイトでダウンロードしたUpdateXpress System Pack Installerの実行ファイル(.exeファイル)をダブルクリックします(当ガイドではUpdateXpress System Pack Installer for Microsoft WindowsのVersion 4.40になります)。



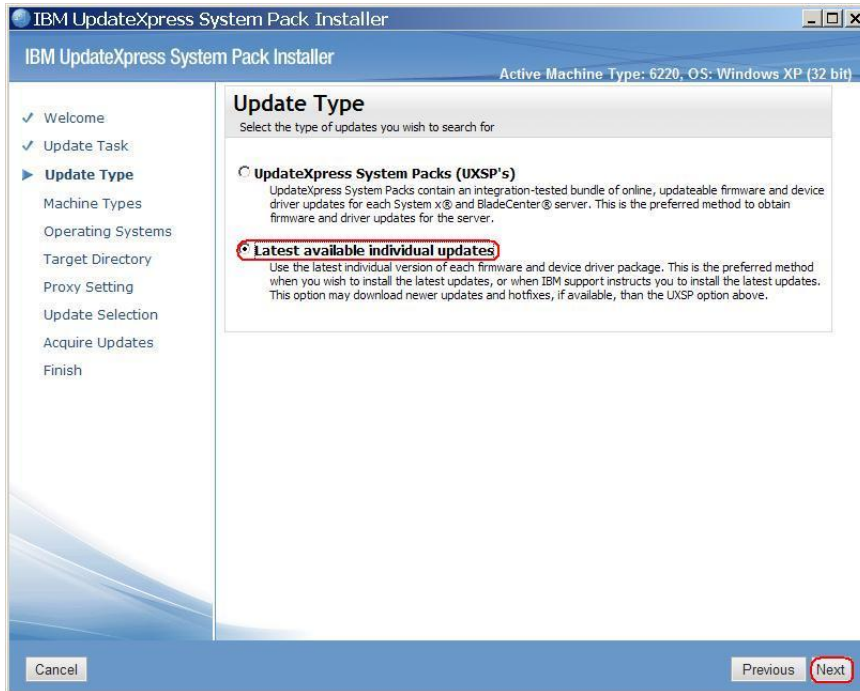
2. Welcome to UpdateXpress System Pack Installerが表示されます。ここでは何も選択せず「Next」をクリックします。



3. Update Taskが表示されます。クライアントPC上へサーバーのファームウェアやドライバーのアップグレードで使用するファイルをダウンロードするため、Create a repository of updatesを選択し「Next」をクリックします。



4. Update Typeが表示されます。最新バージョンを適用するためにLatest available individual updatesを選択し「Next」をクリックします。



※通常様々な修正がされているので最新バージョンのファームウェアやドライバーを使用する事を推奨されておりますので、「Latest available individual updates」をここでは選択しています。しかしFlex System では、サポートされるファームウェアバージョンの組み合わせが決まっており、それぞれ決められたファームウェアを適用していただく必要がございますのでUpdateXpress System Packs(UXSP's)を御使用下さい。

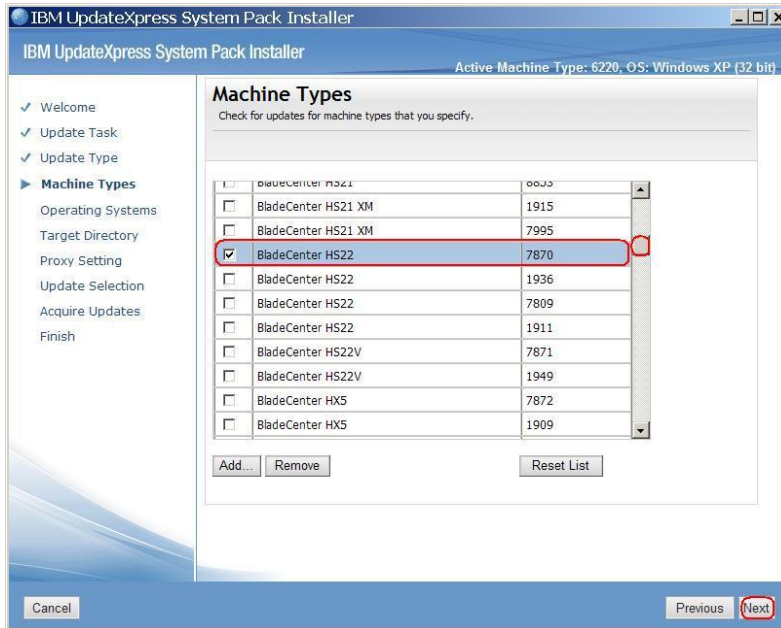
Flex System でサポートされるファームウェアの組み合わせの情報については以下のリンク先をご参照ください

(Flex System Manager(FSM)がない構成でも以下の情報に従う必要がございます)。

PureSystems の更新

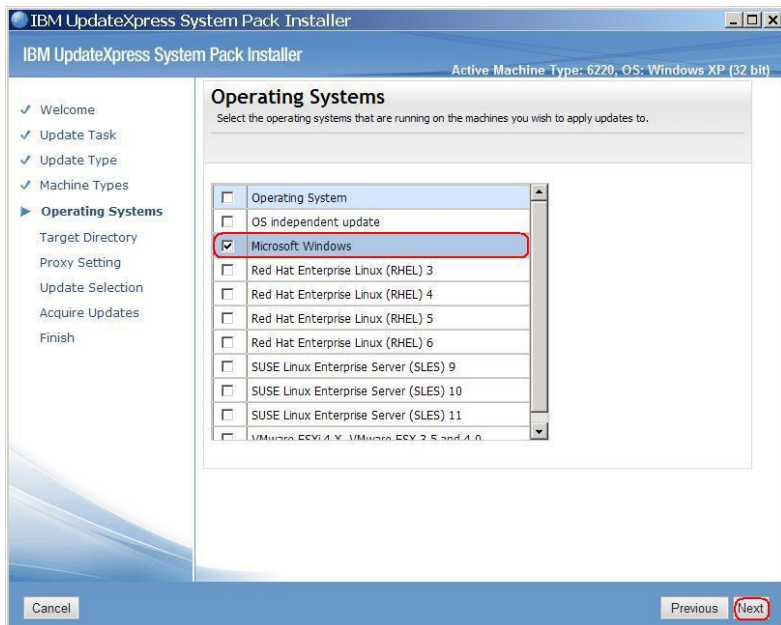
<https://www.ibm.com/software/brandcatalog/puresystems/centre/update>

5. Machine Typesが表示されます。当ガイドではHS22 7870を選択し「Next」をクリックします。

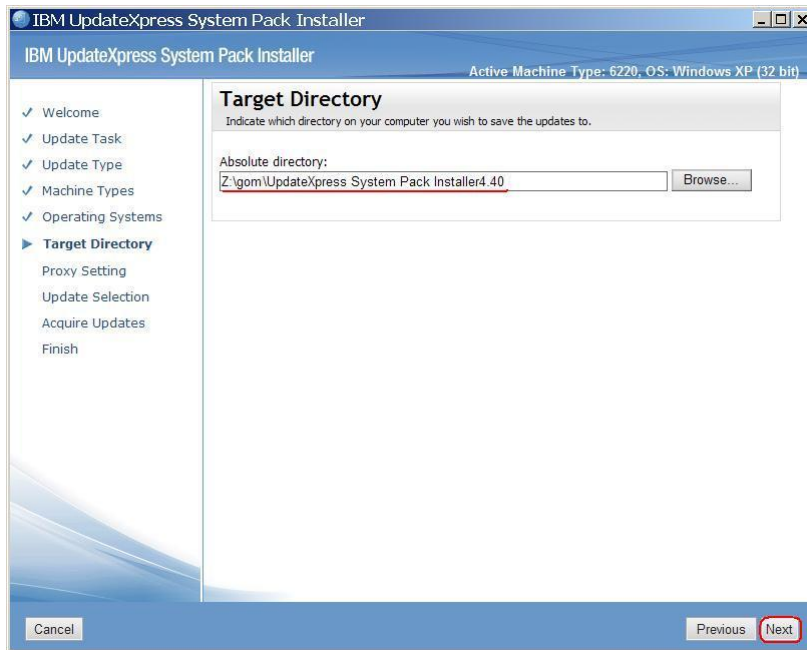


※他のServerを使用している環境でアップグレードを行う場合は該当するチェックボックスを複数チェックする事が可能です。

6. Operating Systemsが表示されます。当ガイドではMicrosoft Windowsを選択し「Next」をクリックします。

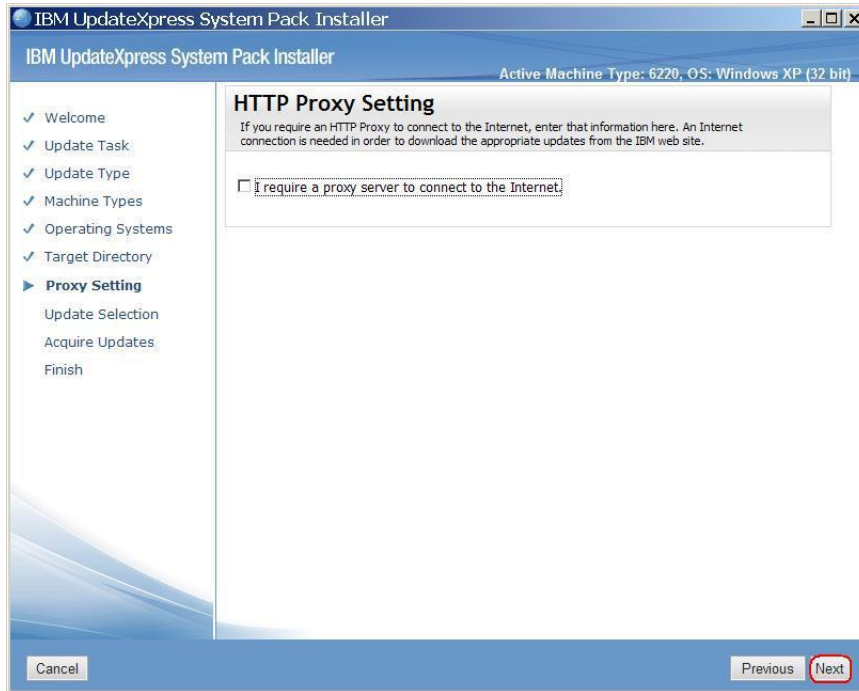


7. Target Directoryが表示されます。初期状態ではUpdateXpress System Pack Installerの実行ファイルした階層のフォルダーにファームウェアやドライバーのファイルが保存されます。当ガイドでは初期状態のままで「Next」をクリックします。

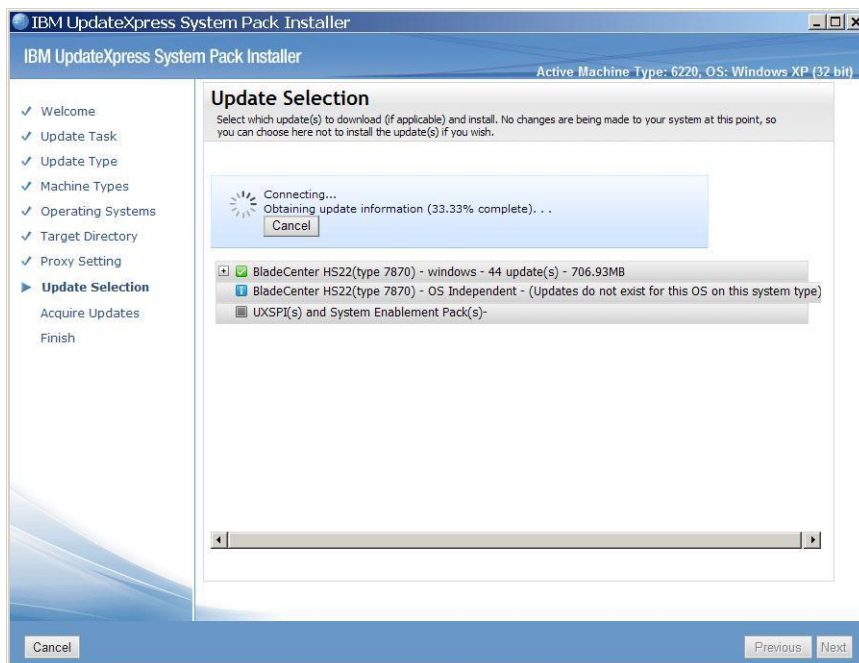


※過去に一度作成したフォルダーを指定すると、更新のあったファイルだけをダウンロードするため、ダウンロード時間を短縮できます。

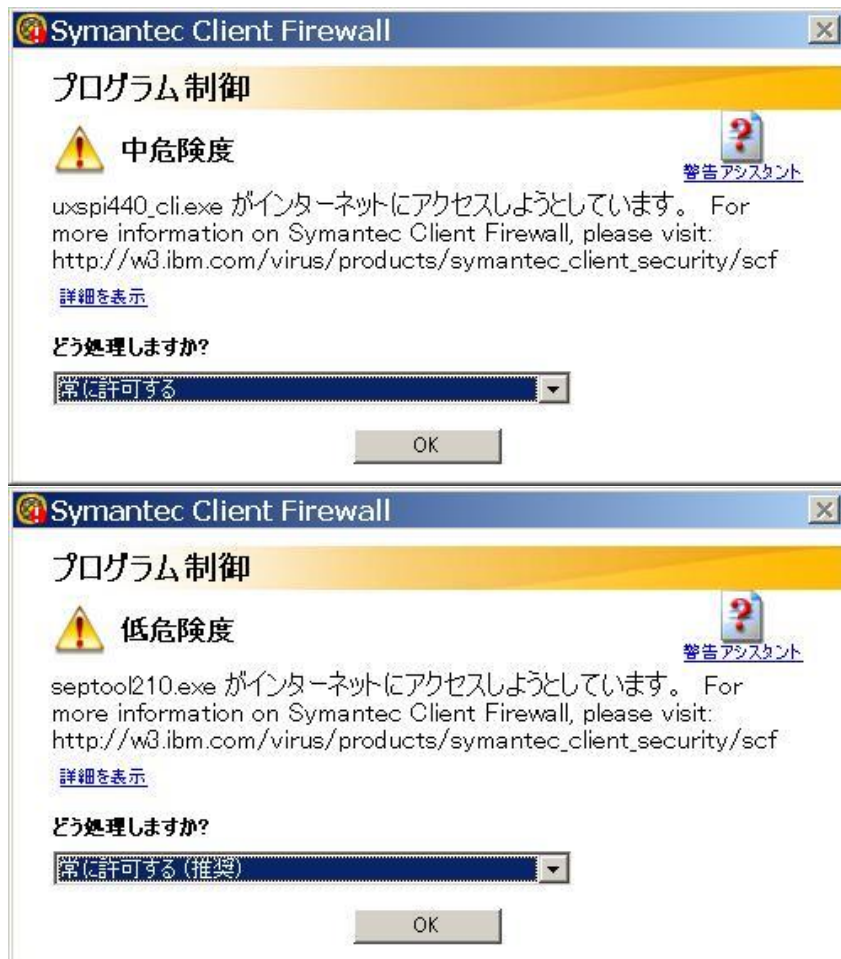
8. HTTP Proxy Settingが表示されます。当ガイドの環境ではProxy Serverは使用しないのでここでは何も選択せず「Next」をクリックします。



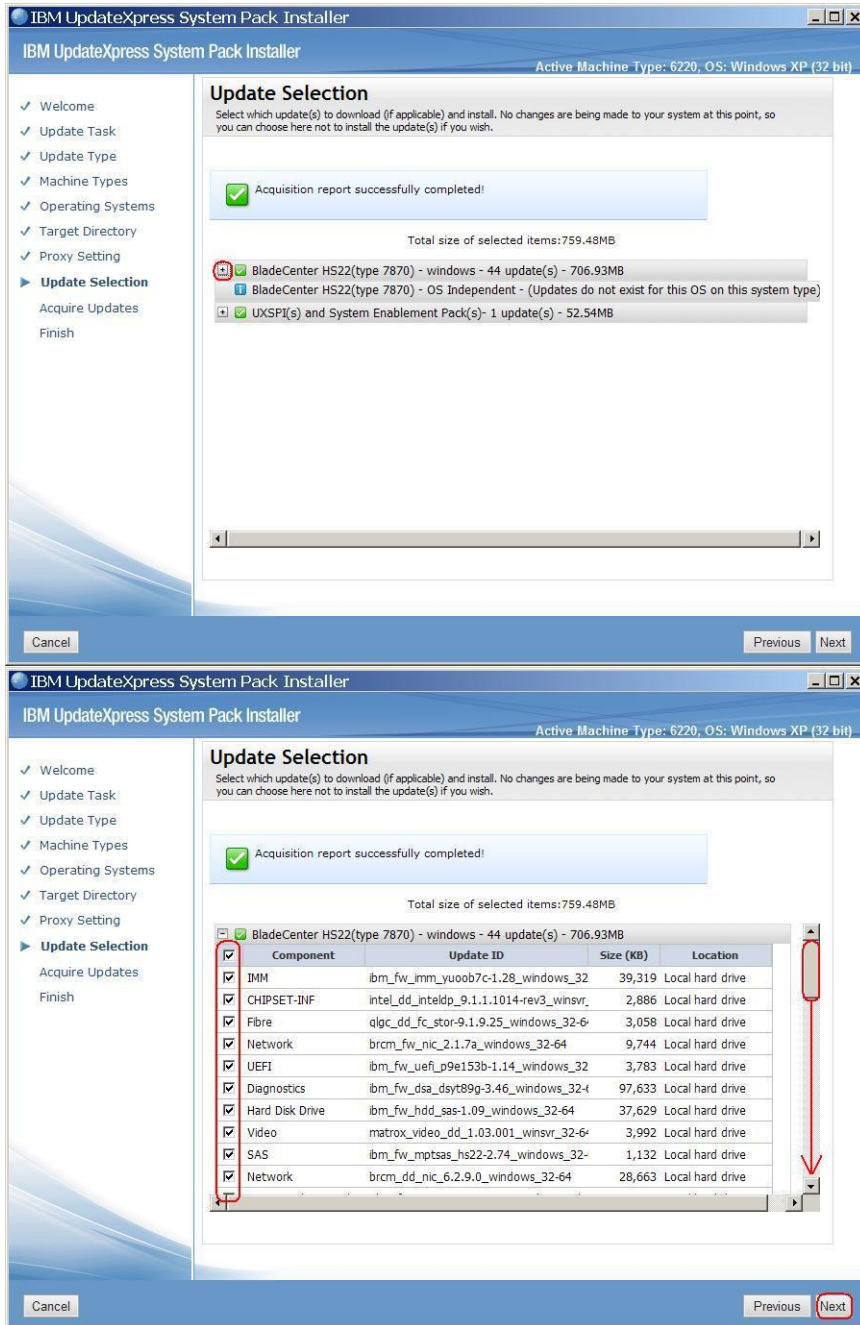
9. Update Selectionが表示されます。完了するまで待ちます。



※ファイヤーウォールソフトが動いている場合はuxspi440_cli.exe、septool210.exeがインターネットに接続する事を許可してください。

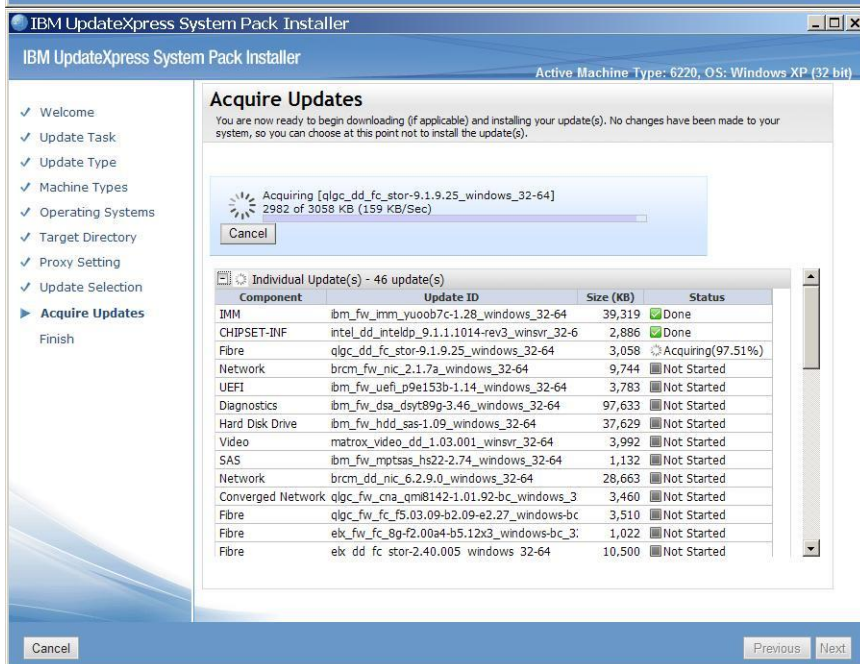
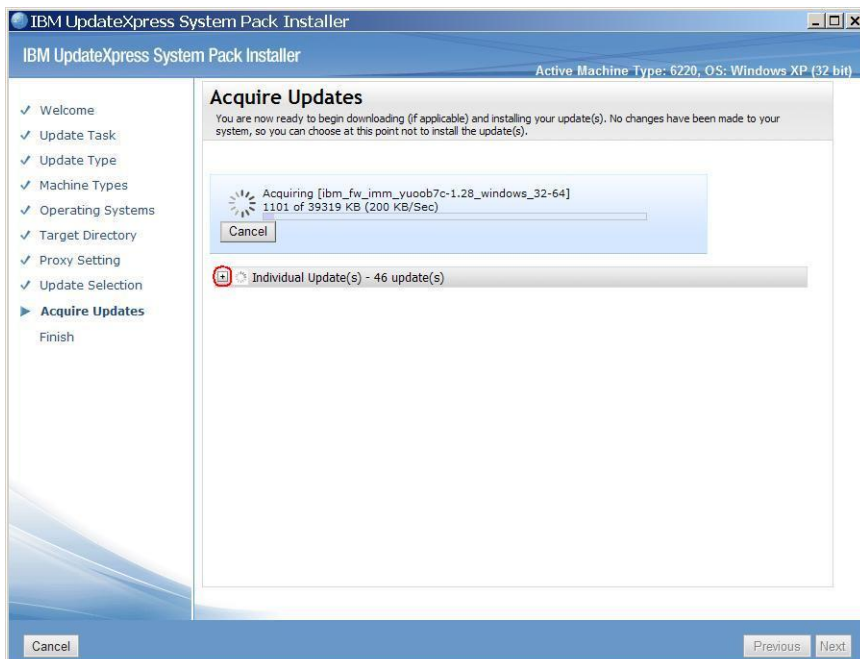


10. Update Selectionが完了し、左上の+をクリックすると、ダウンロードする項目が確認できます。当ガイドの環境ではデフォルトのすべて選択されたまま「Next」をクリックします。

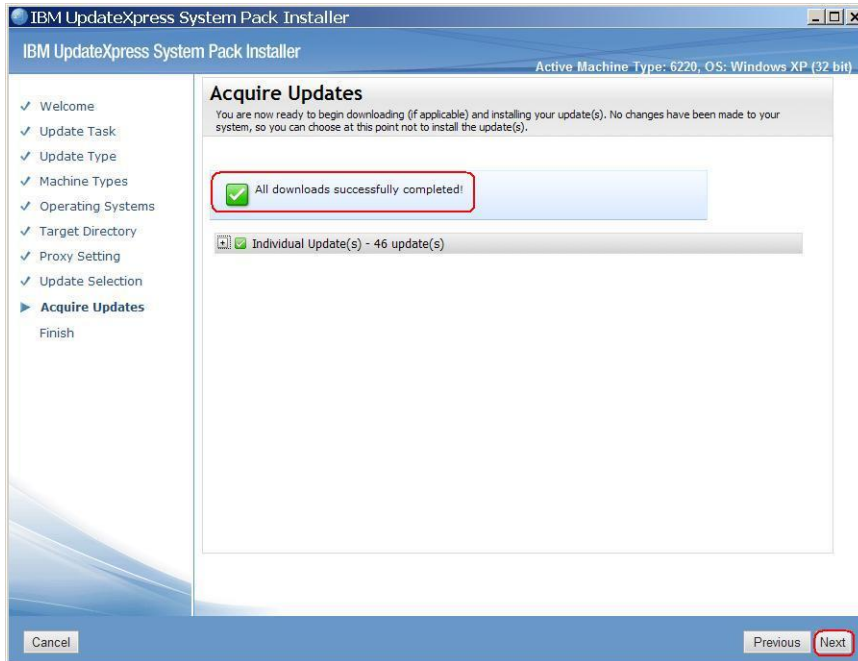


※ダウンロードが完了する時間は選択されている項目や回線状況に変わってきますが、デフォルトの選択項目でダウンロードを行う場合は完了するまで数時間かかる場合もございますので予め御了承ください。

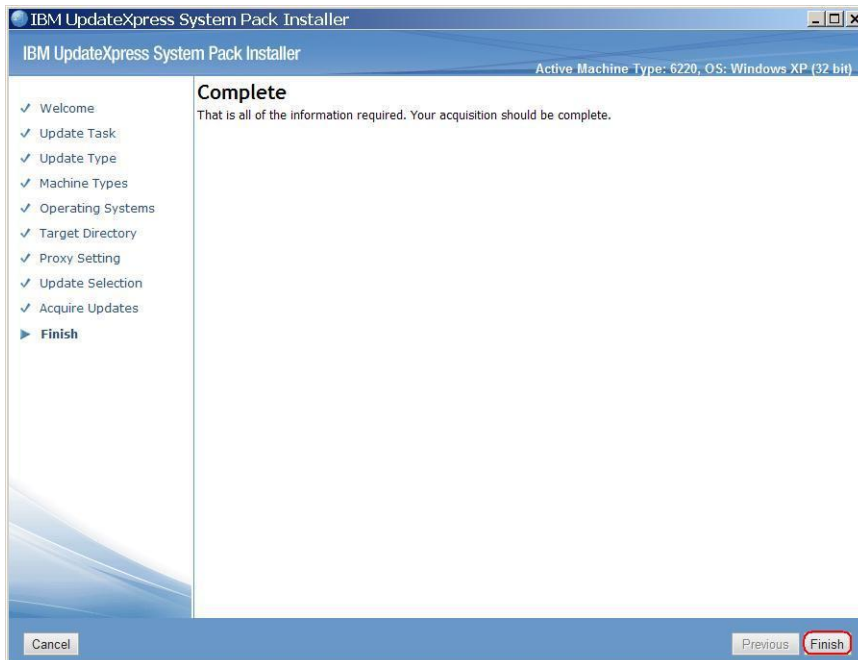
Acquire Updatesが表示されます。左上の+をクリックすると、ダウンロード状況が確認できます。
完了するまでお待ちください。



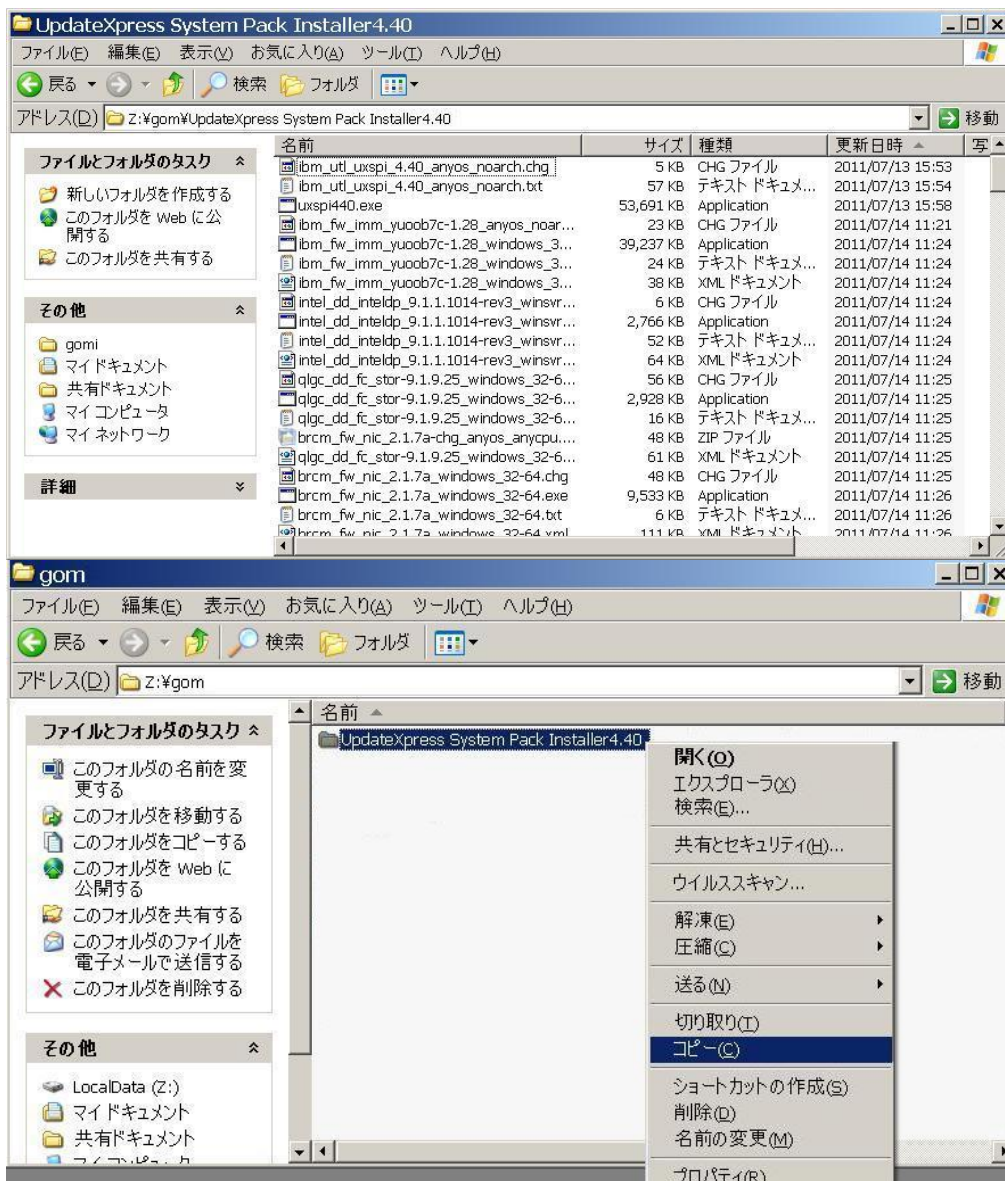
11. Acquire UpdatesでAll downloads successfully completed!と表示され、すべてのダウンロードが完了後「Next」をクリックします。



12. Completeが表示されます。「Finish」をクリックします。



13. Windowsのエクスプローラー等で「7. Target Directory」（初期状態ではUpdateXpress System Pack Installerの実行ファイルした階層のフォルダー）のフォルダーを、ファームウェアやドライバー等のアップグレードを行いたいSystem x、BladeCenterのServer(当ガイドではHS22のWindows Server 2008 R2上)にコピーします。



4. System x や BladeCenter 等の Server で UpdateXpress System Pack Installer を実行

クライアントPCからファームウェアやドライバー等のアップグレードを行いたい適用先のサーバー（System x、BladeCenter等のServer）へファイルをコピーしてUpdateXpress System Pack Installerを実行します。



※適用先のサーバーで「IBM USB Remote NDIS Network Device」が無効化されている場合がありますので御確認ください。

このネットワーク・インターフェースは、OSとIMM、IMM2とを内部的に接続するものです。たとえば、OS上からuEFIやIMMのファームウェアを更新する場合にこの経路を使用します。無効化されている場合、この経路を使って通信を行う機能が使用できません。必要に応じて有効化を行います。

Windows Server 2008 R2の場合

[スタート] ボタン、[コントロール パネル]、[ネットワークとインターネット]、[ネットワークと共有センター]、[アダプターの設定の変更] の順にクリックします。「IBM USB Remote NDIS Network Device」が無効化されている場合右クリックをして有効にします。

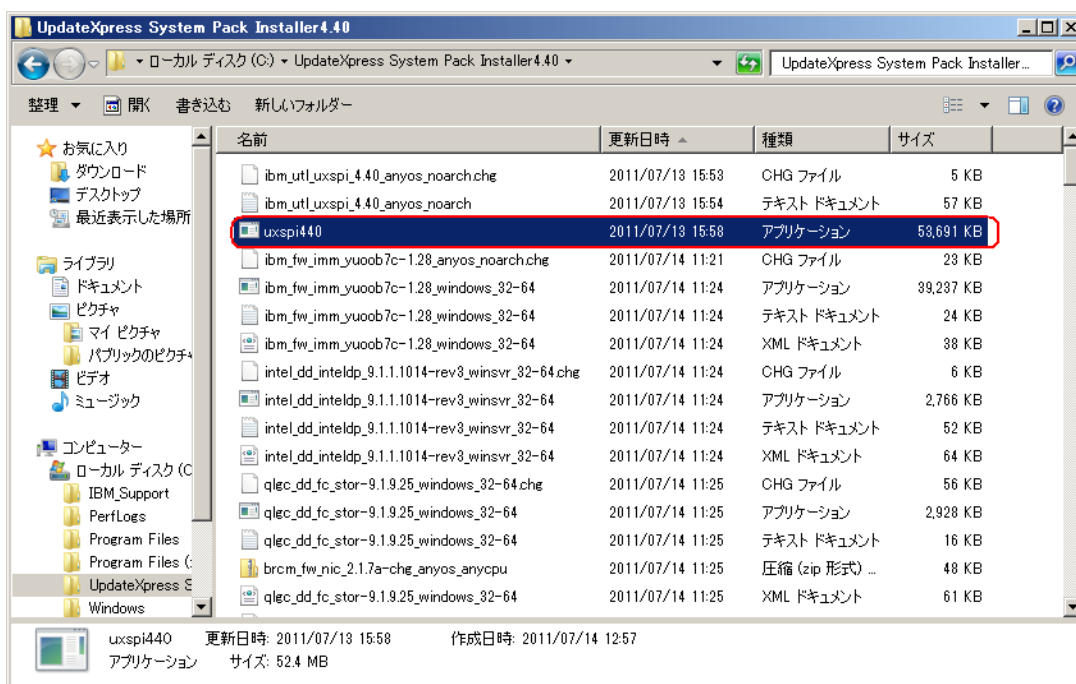


有効化状態

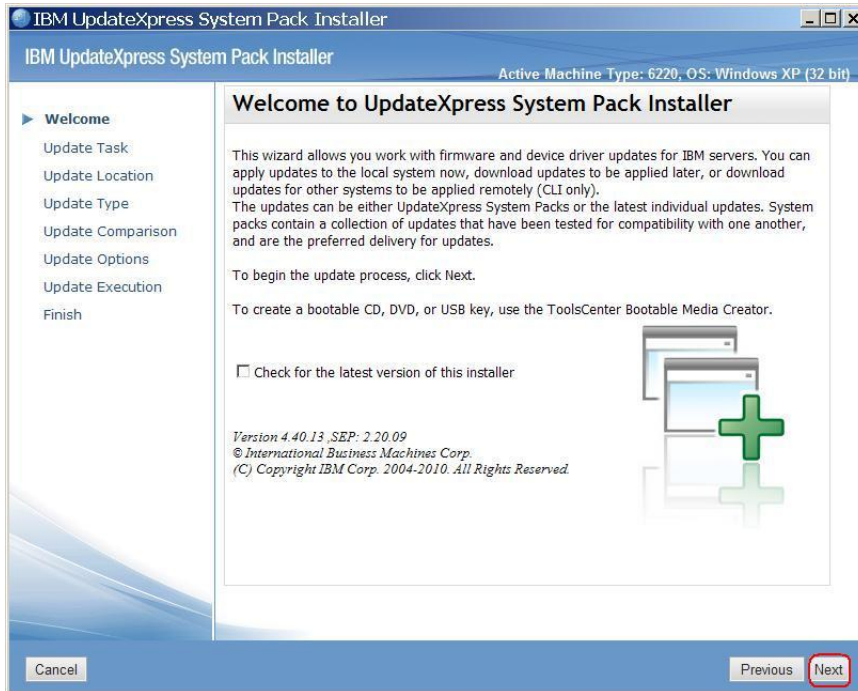


4.1. UpdateXpress System Pack Installer の実行

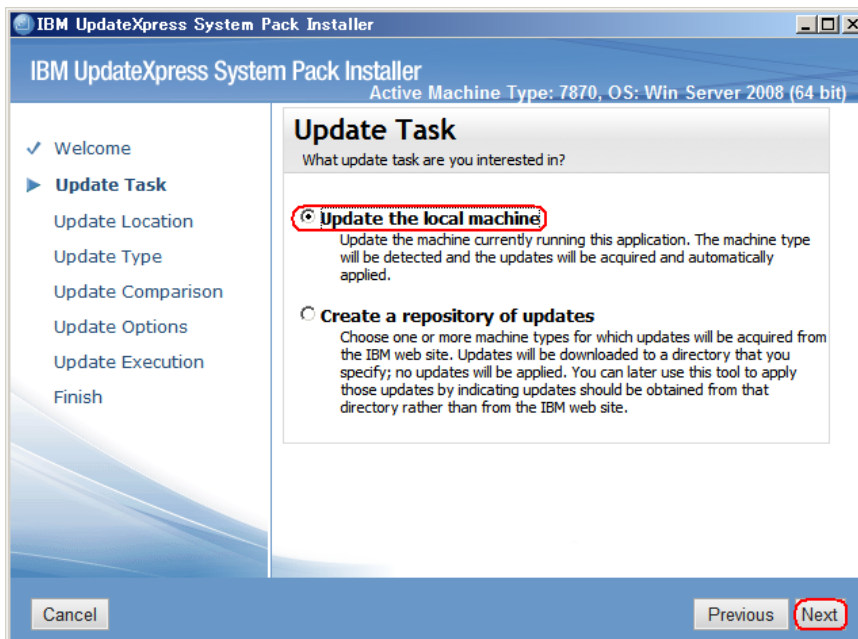
1. クライアントPCからコピーした「前述の3.1の7. Target Directory」フォルダーの中にある UpdateXpress System Pack Installerの実行ファイル(.exeファイル)をダブルクリックします(当ガイドではUpdateXpress System Pack Installer for Microsoft WindowsのVersion 4.40になります)。



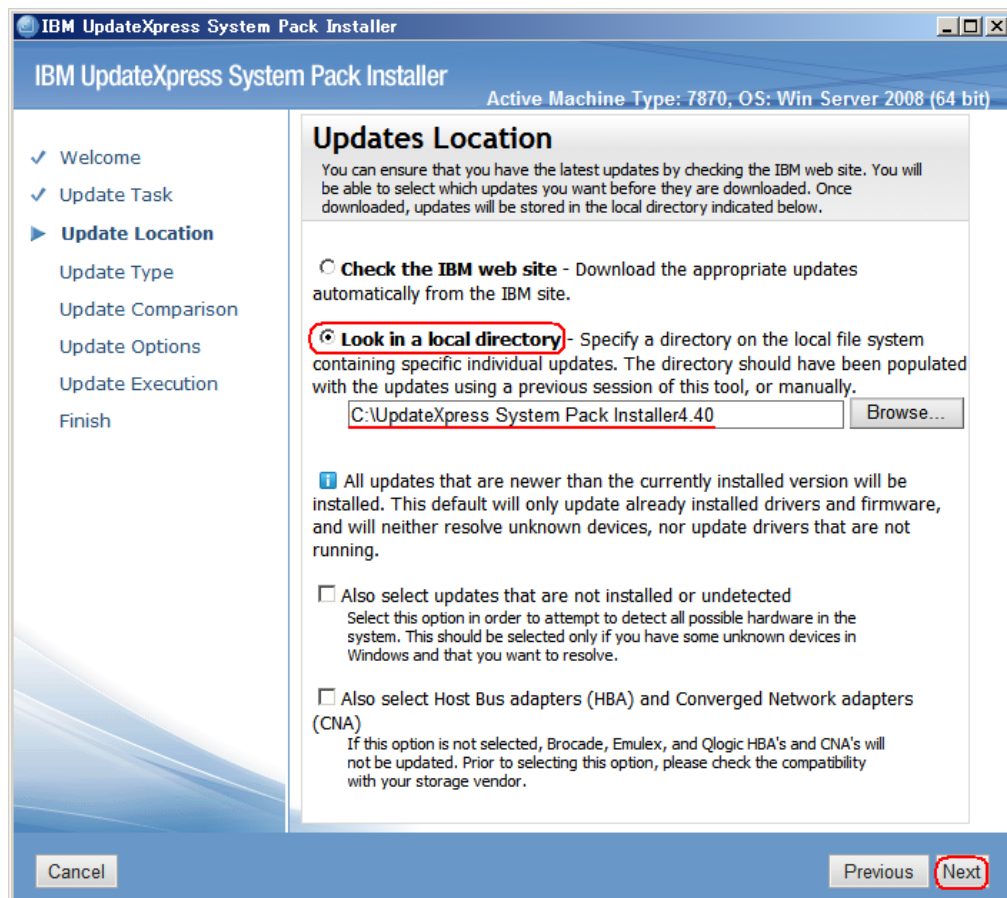
2. Welcome to UpdateXpress System Pack Installerが表示されます。ここでは何も選択せず「Next」をクリックします。



3. Update Taskが表示されます。各アップグレードを行うため、Update the local machineを選択し「Next」をクリックします。



4. Update Locationが表示されます。Look in a local directoryを選択し「Next」をクリックします。当ガイドではUpdateXpress System Pack Installerの実行ファイルがある階層のフォルダーに各ファームウェアやドライバーのファイルが保存されていますのでそのフォルダーが指定されている事を確認します。



※各チェック項目についてですが、当ガイドではデフォルトのままチェックをしていません。

チェック項目について

・「Also select updates that are not installed or undetected」は認識されていないデバイス等がある場合に選択します。追加したハードウェアが正常に認識されない場合や、Windows OS上で不明なデバイスがあり、問題を解決したい場合に選択します。

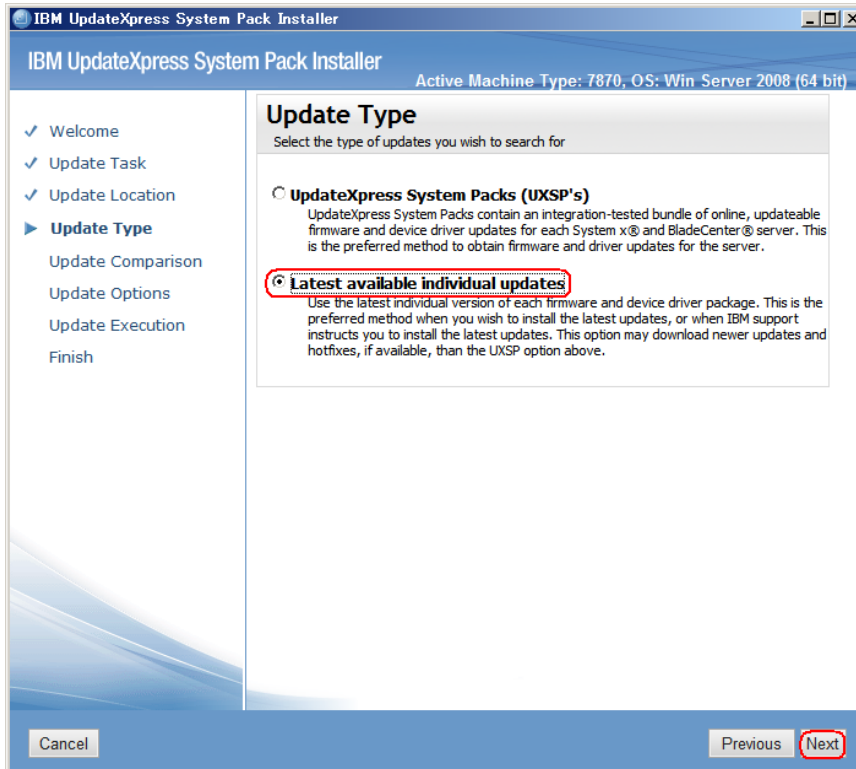
・「Also select Host Bus Adapters(HBA) and Converged Network Adapters(CNA)」はBrocade、Emulex、Qlogic社製OEMオプションが追加されていてアップデートを行いたい時に選択します。

選択されていない場合、Brocade、Emulex、Qlogic製HBAやCNAはアップデートされません。この選択を行う前に、互換性についてご利用のストレージ製造元までご確認ください。

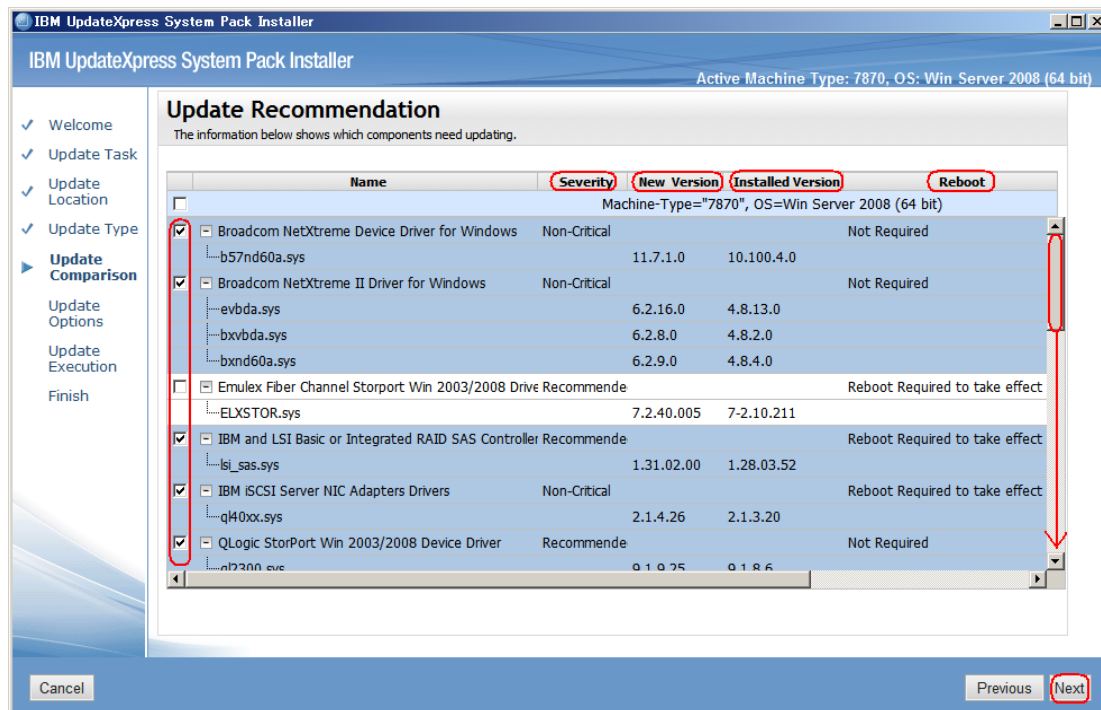
ソフトウェア・バージョンごとに制限事項や、既知の問題が掲載されていますので、ご利用になるバージョンに付属のドキュメントのTroubleshootingの章をご確認いただくことをお勧めします。

UpdateXpress System Pack Installer (UXSPI) User's Guide - BladeCenter and System x
<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=MIGR-5085892>

5. Update Typeが表示されます。最新バージョンを適用するためにLatest available individual updatesを選択し「Next」をクリックします。

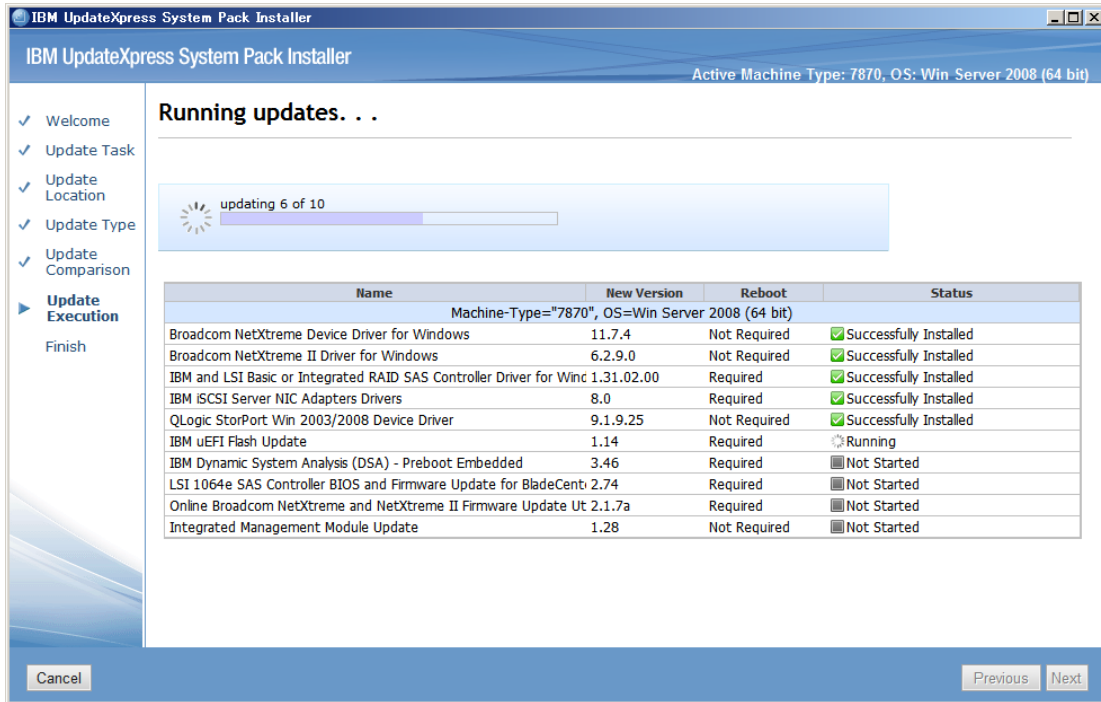


6. Update Recommendationが表示されます。当ガイドではデフォルトのまま「Next」をクリックします。

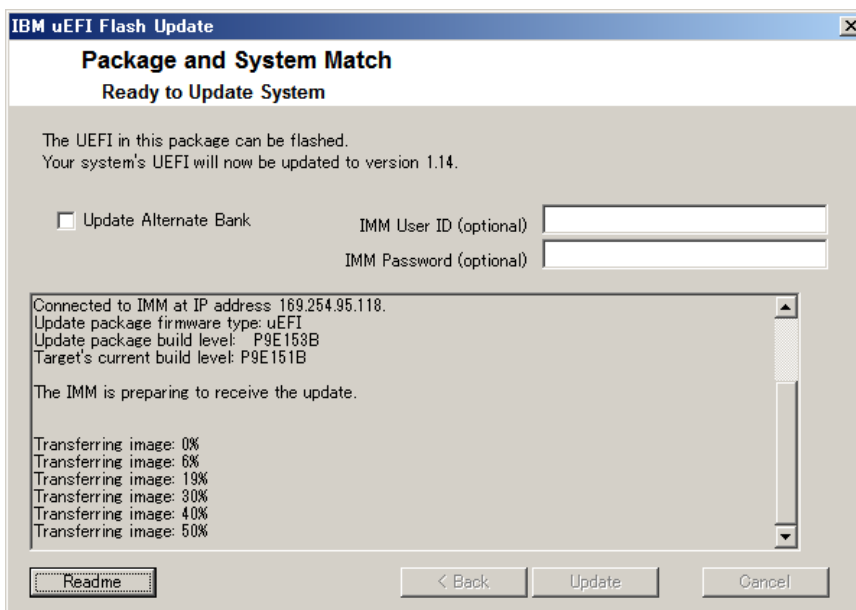


※SeverityがRecommendedのものはアップグレードする事が推奨され、Installed VersionよりNew Versionの方が新しい場合適用されます。RebootがReboot Required to take effectになっているものは適用後にOSを再起動する必要があります。「Next」を押す前にチェック項目を選択する事によって適用したい、したくないものを選択する事ができます。

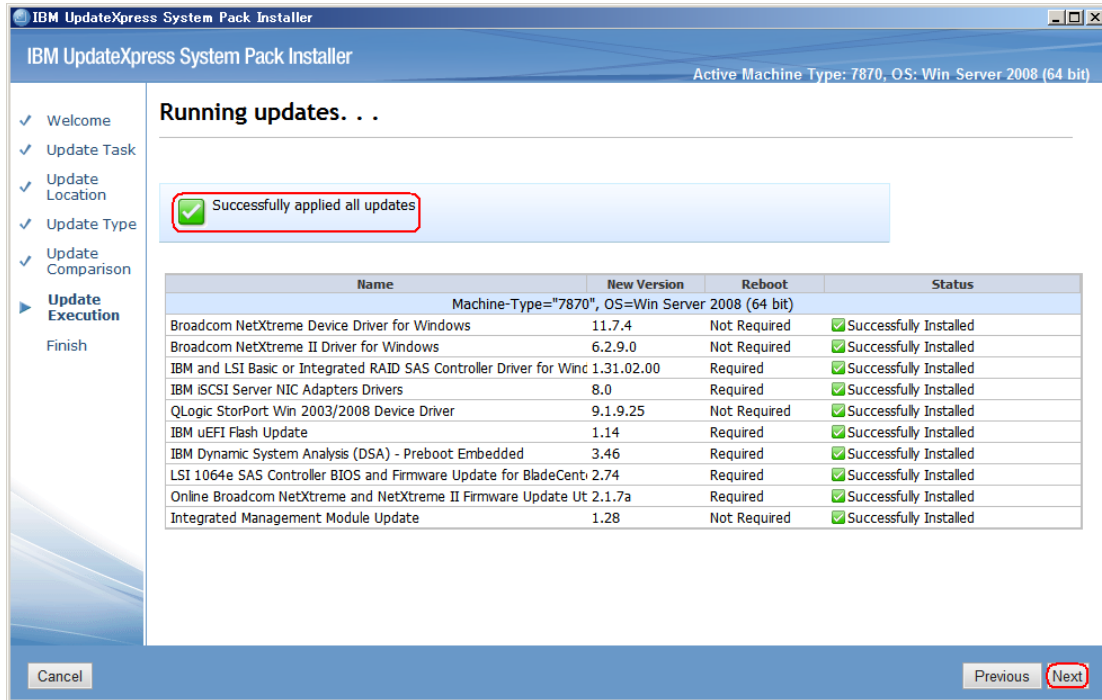
7. Running Updatesが表示されます。ダウンロード状況が確認できます。完了するまで何も操作せずにお待ちください。



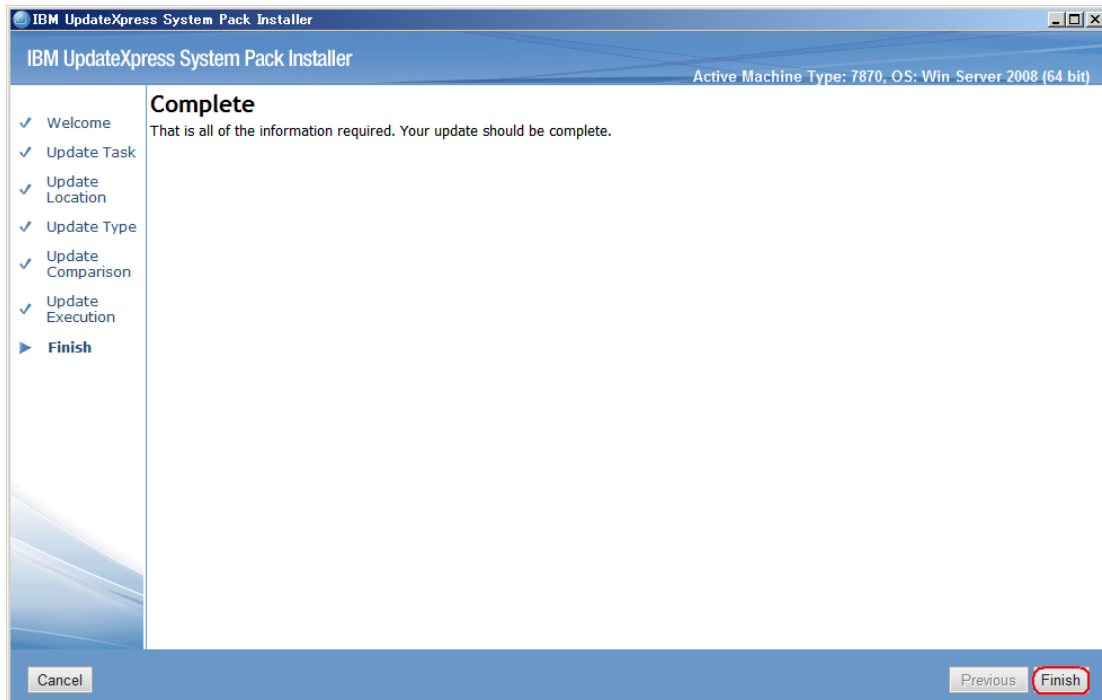
※アップグレード中以下のような各アップグレードプログラムが起動しますが、何も操作せずにお待ちください。



8. Running UpdatesでSuccessfully applied all updatesと表示され、すべてのアップグレードが完了後「Next」をクリックします。



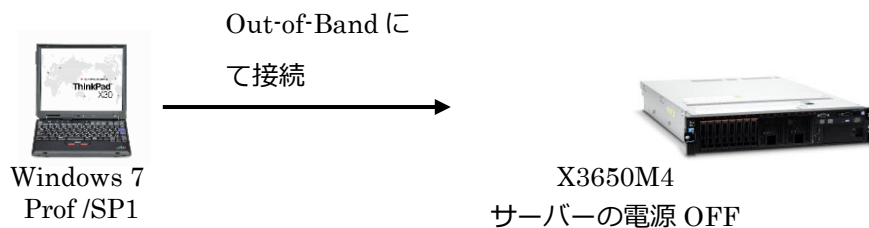
9. Completeが表示されます。「Finish」をクリックします。



-
10. 「7.Running Updates」でRebootがRequiredになっているものがある場合はOS（当ガイドではHS22のWindows Server 2008 R2）を必ず再起動してください。

5. <補足>IMM2 の Out-of-Band にクライアント PC を接続し、 クライアント PC にて UpdateXpress System Pack Installer を CLI で実行する方法

System xやFlex Systemのx86コンピュータ・ノードの場合、System xやFlex Systemのx86コンピュータ・ノードのIMM2のOut-of-BandにクライアントPCを接続し、クライアントPCにてUpdateXpress System Pack InstallerをCLIで実行する方法もございます。IMM2にOut-of-Bandで接続してファームウェアをアップデートする場合は、アップデートできるデバイスは、IMM2、UEFI、DSA、およびFPGAのみとなります。

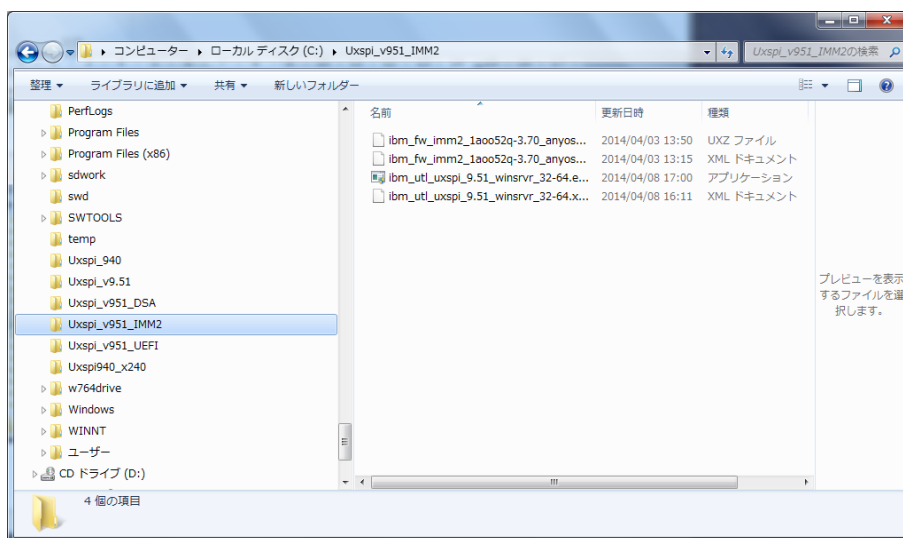


※BladeCenterのServerのIMM2へOut-of-Bandにて接続する事はサポートされません。

5.1. クライアント PC にて UpdateXpress System Pack Installer を CLI にて実行し、IMM2 のファームウェアのみをアップデートしたい場合

1. クライアント PC にて、コマンド・プロンプトを立ち上げます。UpdateXpress System Pack Installer の実行ファイル(.exe ファイル)、および IMM2 のファームウェア (uxz ファイルと xml ファイル) が同梱するディレクトリーへ CD にて持っていきます。ここでは、UpdateXpress System Pack Installer for Microsoft Windows の Version 9.51 を使用しています。

以下は、ディレクトリーの内容です。



コマンド・プロンプトにて以下のようにキーインします。

```
C:\%Uxsapi_v951_IMM2>ibm_util_uxsapi_9.51_winsrvr_32-64.exe update
--update-args="IMM:--user=USERID --password=PASSWORD" -u -s all --latest
--host=192.168.70.125
```

ここで：

--password=PASSWORD は --user=USERID のパスワードです。

（注 1： Flex System のコンピュータ・ノードの IMM2 の場合は、別途 IPMI ユーザーを作成し、その

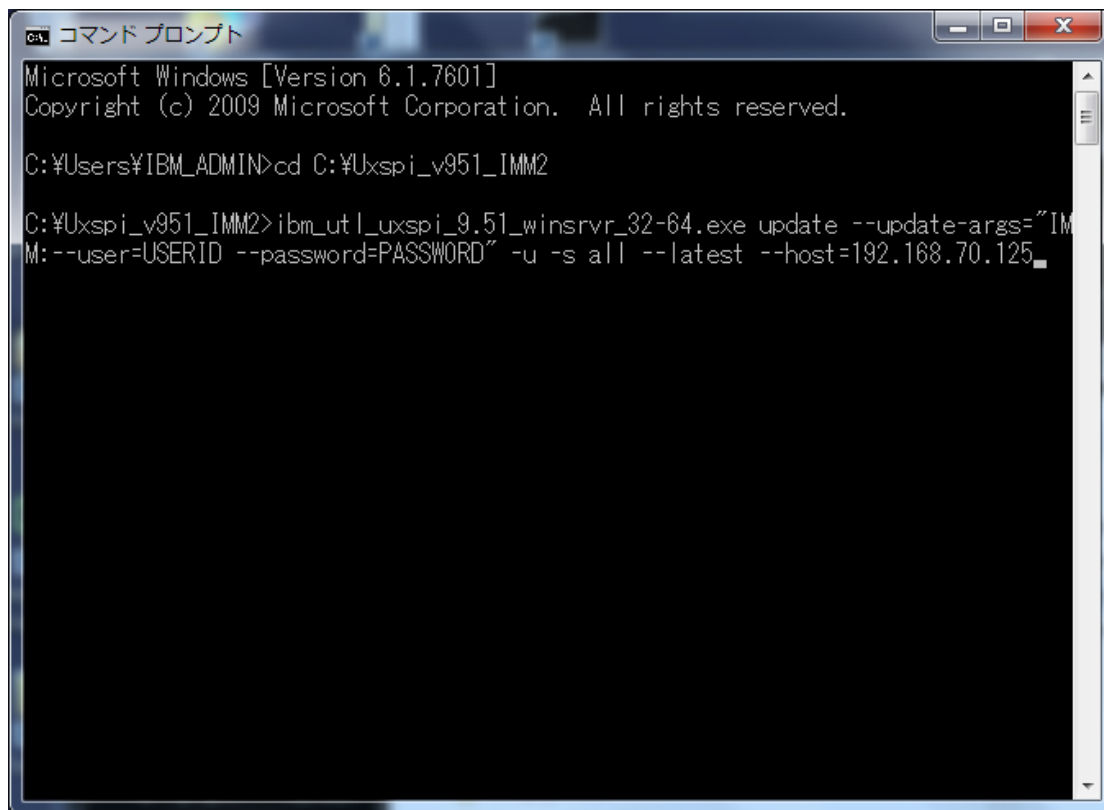
userid を使用する必要があります。

注 2： デフォルトの USERID、PASSWORD の場合は、省略も可。）

--host=192.168.70.125 は IMM2 の IP アドレスです。

--update-args="IMM:" は IMM2 か、UEFI か、DSA か、を指定します。複数の場合は、カンマで区切り

ます。また backup image をアップデートしたい場合は、例えば、IMM:--backup と入れます。

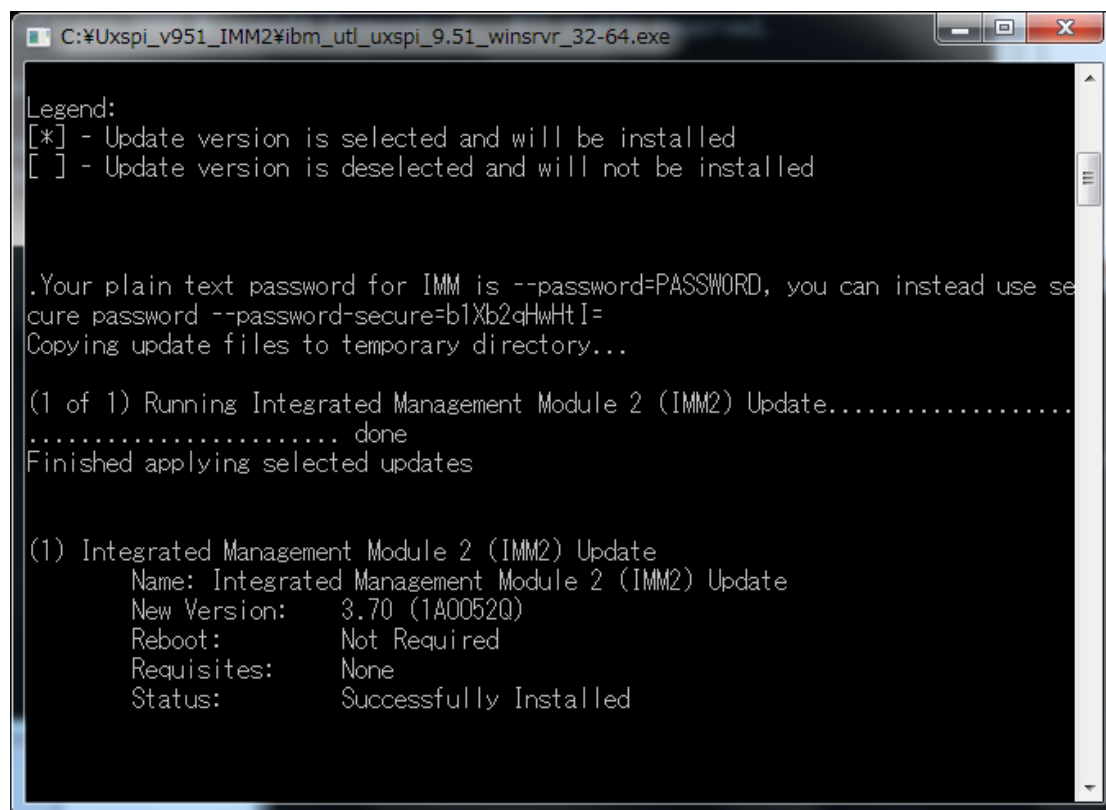


```
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\IBM_ADMIN>cd C:\Uxspi_v951_IMM2

C:\Uxspi_v951_IMM2>ibm_utl_uxspi_9.51_winsrvr_32-64.exe update --update-args="IBM:--user=USERID --password=PASSWORD" -u -s all --latest --host=192.168.70.125
```

2. アップデートの完了を待ちます。Status: が Successfully Installed を確認します。



```
C:\%Uxspi_v951_IMM2%ibm_utl_uxspi_9.51_winsrvr_32-64.exe

Legend:
[*] - Update version is selected and will be installed
[ ] - Update version is deselected and will not be installed

Your plain text password for IMM is --password=PASSWORD, you can instead use secure password --password-secure=b1Xb2qHwHtI=
Copying update files to temporary directory...

(1 of 1) Running Integrated Management Module 2 (IMM2) Update.....
..... done
Finished applying selected updates

(1) Integrated Management Module 2 (IMM2) Update
    Name: Integrated Management Module 2 (IMM2) Update
    New Version:      3.70 (1A0052Q)
    Reboot:           Not Required
    Requisites:       None
    Status:           Successfully Installed
```

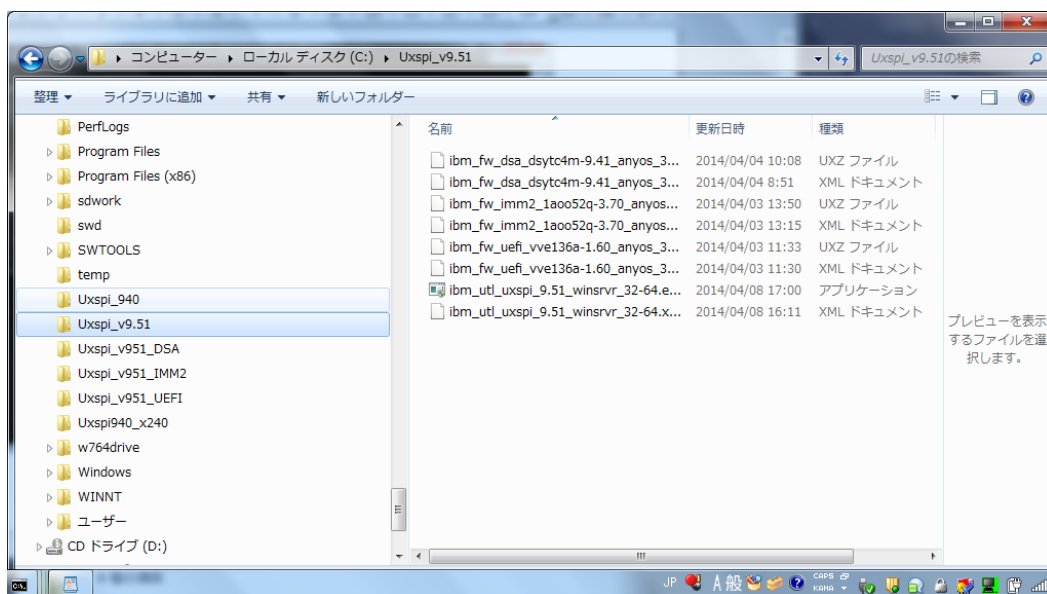
3. IMM2をOut-of-Bandにてアップデートした場合、Uxspi9.51の現バージョンでは、自動的にIMM2のリスタートは行われません。手動にて以下の何れかの手順で、IMM2のリスタートを行います。

- 1) F1 セットアップ画面のIMMの箇所で、IMM Resetを選択する。
- 2) IMM2 にWeb Browserにて接続し、画面の中の「Restart IMM2」を行う。

5.2. クライアント PC にて UpdateXpress System Pack Installer を CLI にて実行し、IMM2、UEFI、および DSA のファームウェアを同時にアップデートする場合

1. クライアント PC にて、コマンド・プロンプトを立ち上げ、UpdateXpress System Pack Installer の実行ファイル(.exe ファイル)、および IMM2、UEFI、および DSA のファームウェア(uxz ファイルと xml ファイル)が同梱するディレクトリーへ CD にて持ていきます。(注: IMM2、UEFI、DSA はお互いに連携しているため、同時にアップデートすることを推奨しています。)

以下は、ディレクトリーの内容です。



コマンド・プロンプトにて以下のようにキーインします。

```
C:\¥Uxsapi_v951_IMM2>ibm_utl_uxspi_9.51_winsrvr_32-64.exe update
--update-args="UEFI:,DSA:,IMM:--user=USERID --password=PASSWORD" -u -s all
--latest --host=192.168.70.125
```

ここで：

--user=USERID は IMM2 の userid です。

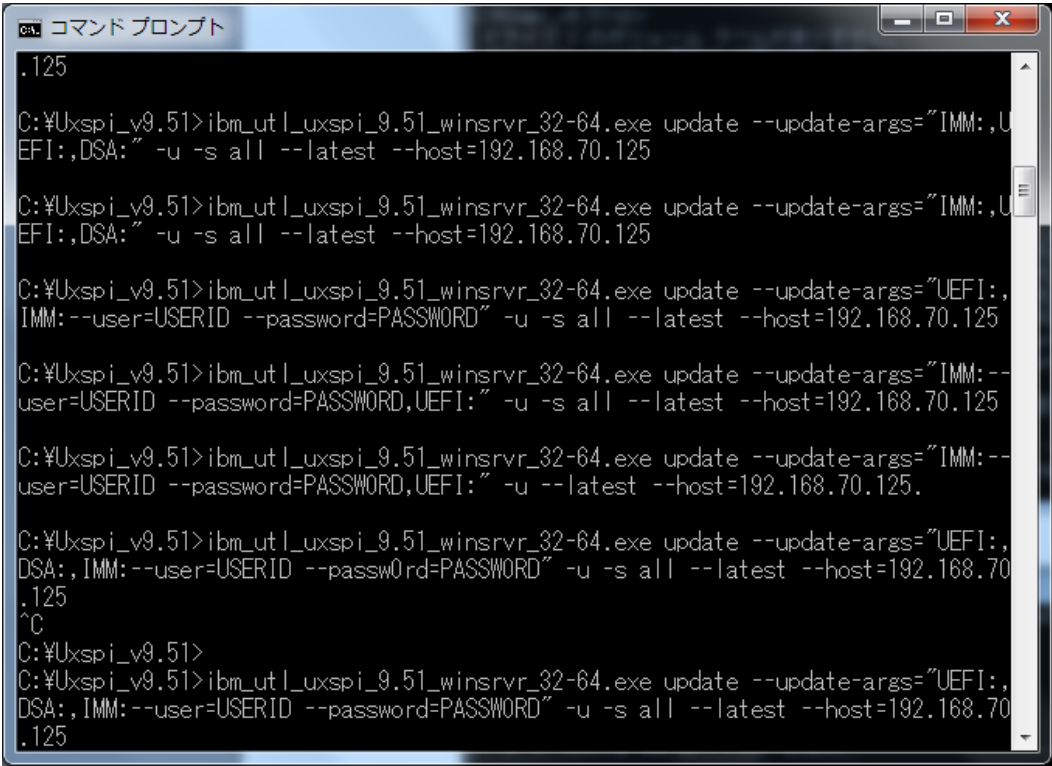
(注：Flex System のコンピュータ・ノードの IMM2 の場合は、別途 IPMI ユーザーを作成し、その

userid を使用する必要があります。)

--password=PASSWORD は --user= のパスワードです。

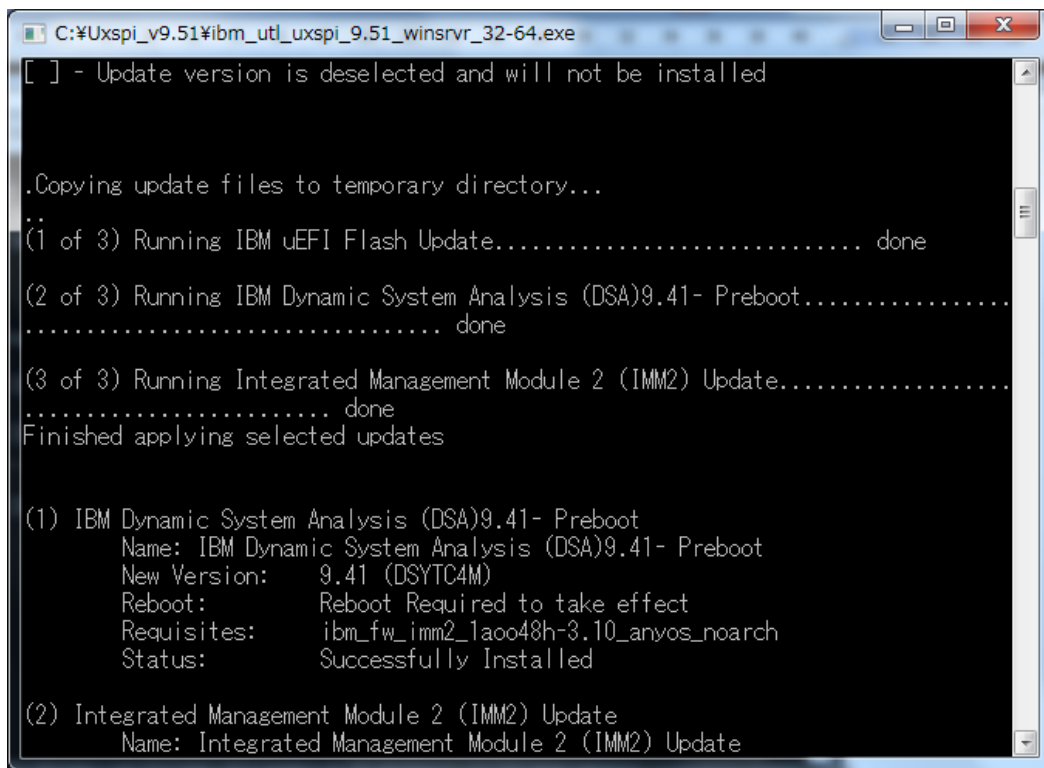
--host=192.168.70.125 は IMM2 の IP アドレスです。

--update-args="UEFI:,DSA:,IMM:" は IMM2、UEFI、DSA をアップデートします。



```
コマンド プロンプト
.125
C:\¥Uxsapi_v9.51>ibm_utl_uxspi_9.51_winsrvr_32-64.exe update --update-args="IMM:,UEFI:,DSA:" -u -s all --latest --host=192.168.70.125
C:\¥Uxsapi_v9.51>ibm_utl_uxspi_9.51_winsrvr_32-64.exe update --update-args="IMM:,UEFI:,DSA:" -u -s all --latest --host=192.168.70.125
C:\¥Uxsapi_v9.51>ibm_utl_uxspi_9.51_winsrvr_32-64.exe update --update-args="UEFI:,IMM:--user=USERID --password=PASSWORD" -u -s all --latest --host=192.168.70.125
C:\¥Uxsapi_v9.51>ibm_utl_uxspi_9.51_winsrvr_32-64.exe update --update-args="IMM:--user=USERID --password=PASSWORD,UEFI:" -u -s all --latest --host=192.168.70.125
C:\¥Uxsapi_v9.51>ibm_utl_uxspi_9.51_winsrvr_32-64.exe update --update-args="IMM:--user=USERID --password=PASSWORD,UEFI:" -u --latest --host=192.168.70.125
C:\¥Uxsapi_v9.51>ibm_utl_uxspi_9.51_winsrvr_32-64.exe update --update-args="UEFI:,DSA:,IMM:--user=USERID --password=PASSWORD" -u -s all --latest --host=192.168.70.125
^C
C:\¥Uxsapi_v9.51>
C:\¥Uxsapi_v9.51>ibm_utl_uxspi_9.51_winsrvr_32-64.exe update --update-args="UEFI:,DSA:,IMM:--user=USERID --password=PASSWORD" -u -s all --latest --host=192.168.70.125
```

2. アップデートの完了を待ちます。



```
C:\¥Uxspi_v9.51¥ibm_util_uxspi_9.51_winsrvr_32-64.exe
[ ] - Update version is deselected and will not be installed

Copying update files to temporary directory...

(1 of 3) Running IBM uEFI Flash Update..... done
(2 of 3) Running IBM Dynamic System Analysis (DSA)9.41- Preboot..... done
(3 of 3) Running Integrated Management Module 2 (IMM2) Update..... done
Finished applying selected updates

(1) IBM Dynamic System Analysis (DSA)9.41- Preboot
    Name: IBM Dynamic System Analysis (DSA)9.41- Preboot
    New Version: 9.41 (DSYTC4M)
    Reboot: Reboot Required to take effect
    Requisites: ibm_fw_imm2_1aoo48h-3.10_anyos_noarch
    Status: Successfully Installed

(2) Integrated Management Module 2 (IMM2) Update
    Name: Integrated Management Module 2 (IMM2) Update
```

3. IMM2をOut-of-Bandにてアップデートした場合、Uxspi9.51の現バージョンでは、自動的にIMM2のリスタートは行われません。最初に以下の何れかの手順で、IMM2のリスタートを行います。

- 1) F1 セットアップ画面のIMMの箇所、IMM Restartを選択する。
- 2) IMM2 にWeb Browserにて接続し、画面の中の「Restart IMM2」を行う。

4. 次にサーバーの再起動を行い、UEFIとDSAのアップデートを反映させます。

以上。